

家業に生かす放浪・留学体験



「死以外は、すべて成長のための試練」と道満雅彦さん

ラでしのいだ。

「学んだのは、究極のサバイバル術です」

家業を継ぎ、社長になって3年が過ぎた1995年、阪神・淡路大震災が起きた。神戸市内の本

社や工場は一部を除いて全焼。社員に犠牲者も出た。「サバイバル術を生かさねば」生産設備の修復とビル解体作業を進めた。本社をポートアイランドに移し、借金を抱えて再スタートを切った。

近年、しよゆとソースを「いいとこ取り」した「しよス」などヒット作に恵まれている。

「死ぬこと以外は試練だと思ひ、ええようにとらえる。震災を乗り越えられたことが財産です」

道満さんの同級生で、「瓦せんべい」の亀井堂総本店社長、松井佐一郎さん(64、71年卒)も、高3の夏休みに米国に留学した。「ビートルズ世

代」で、歌詞カードで必死に英語を覚えた。

ホームステイ先の同世代の友人は、40〜50年製の車を大切に乘っていた。「当時、米国は建国から190年ほどたった。歴史が浅いからこそ古いものを大事にするんだと知りました」

家業を継ごうと決心したのも留学中だった。亀井堂総本店は明治6(1873)年創業。「すでに約100年の歴史があった。自分の手で大事にしていかなないと気が持ちが芽生えました」

瓦せんべいは砂糖と卵、小麦粉でできていては基礎の基礎。だから普遍的なおいしさがあるんです。近年は外国人観光客にも人気だ。

「明治のころ『ハイカラせんべい』と親しまれた味を、これからも守っていききたい」(中塚慧)

◇ 次回は茨城県土浦市の県立土浦第一高校です。



「シンプルな味を守っていききたい」と松井佐一郎さん